

北斗だより

愛媛県立松山北高等学校同窓会
〒790-0826 松山市文京町4番地1
TEL (089) 925-2161
FAX (089) 927-2964

題字 藤岡千賀子

No.47

令和8年2月27日

卒業生数

令和6年度末

学校名	卒業年月	男	女	計
北予中	M37.3~S24.3	4,396		4,396
城北高女	S2.3~S23.3		3,845	3,845
北予高(併設中)	S23.3~S24.3	446		446
城北高(併設中)	S23.3~S24.3		378	378
松山北高	S25.3~R7.3	17,531	15,703	33,234
合計		22,373	19,926	42,299



全国高等学校総合体育大会 男子走幅跳 第2位 長井耕太郎



愛媛県高等学校総合体育大会 テニス男子団体 第1位(初)



第103回全国高校サッカー選手権大会 Best16
愛媛県高等学校総合体育大会 第1位(冬夏連覇)



全国高等学校総合文化祭
香川大会 書道部門 出場
山田 惺南

猛暑が続いた夏から秋へ、爽やかさを満喫したのもつかの間、そして冬へと四季の移ろいを感じる今日この頃ですが、同窓会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、昨年度は母校サッカー部の全国大会出場に際し、多大なるご寄付と応援を賜り心からお礼申し上げます。お陰で三回戦まで勝ち上がるとともに松山北高の名が公立進学校の強豪として全国に広まりました。今年度は残念ながら県予選で敗退しましたが、来年度に期待したいと思えます。「文・武・心」三道三立を推進する公立校として県内で評価される学校から全国で評価される学校へと飛躍した思いを感じます。

十月に北高文化祭が行われました。会場は市民会館、「煌星」をスローガンに全員参加の凄まじり盛り上がりの中、書道パフォーマンスに始まり、吹奏楽演奏まで様々な出し物があり、午後は校内での展示と北高文化を堪能しました。「文・武・心」を確信した大感激の日でした。

ご挨拶



同窓会長

遠藤 美武

(北高20回)

米の高騰やエネルギー価格の高止まりによる物価高など厳しい状況が続いています。こうした社会の情勢を冷静に捉え社会の動静を知ること、大変重要なテーマですが、北高では企業活動を学び地域を知る取組が授業の一環で行われているようです。同窓生の提案から始まったとも聞く貴重な取組を高く評価するとともに同窓生と母校の繋がりに大きな感銘を受けました。

松山北高同窓会総会が今年度も多くのご参加をいただき盛大に開催されました。しかし、コロナ禍以後参加者が減少傾向にあり以前の賑わいを取り戻せないか、その一助とすべく部活OB席を設けることとしました。来年度は新たな参加が予定されており、総会の賑わいづくりに、同窓会の一層の活性化に向け、全力を尽くしたいと思えます。

結びに、同窓の皆様の益々のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。挨拶といたします。

松山北高校の大ファンです。



校長

井上 浩

松山北高校同窓生の皆様におかれましては、御健勝で御活躍のこととお慶び申し上げますとともに、日頃から本校の教育活動に御理解・御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

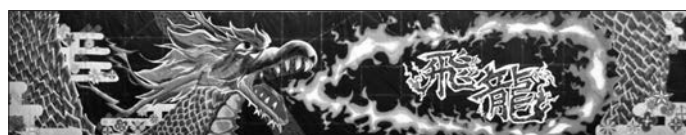
令和六年四月に赴任して、いよいよ校長として最後の年度になりました。この年齢になると、冷静に自分の人生を振り返ることがあります。高校生の時は、自分の学校のありがたさなんて、簡単に認識できるものではないかもしれません。とにかく、高校生として日々を精一杯生きていますから。「思った以上に勉強がきついぞー」とか、「部活動を頑張ろうと思ったのに、怪我で出遅れた。どうしよう。取り残されそう。次に入学して来る後輩に抜かれるかも」など。多くの人が、自分の所属校を在学中に客観的に見る余裕など

なかったはずですが。

今、自分の勤めてきた高校を振り返り、松山北高校を分析したとき、なんとすばらしい学校だろうとつくづく思います。一般的に、最も学力が高いのは高校で、理数が強いのは高校、部活動が盛んなのは高校などと言われることがあります。本当にそうでしょうか。その分析はごく一部分しか見ていない気がします。北高で勤めた二年間で、彼らの潜在能力や伸びしろを見せつけられた今、もっと広い視野で、長いスパンで人間力を判断しなければならないと本当に思います。私は、残念ながら北高出身ではありませんが、北高の大ファンになりました。

令和七年三月の卒業生たちは、現役国公立大学合格者二二〇名を突破し、私学の雄早稲田大学をはじめとする難関私大にも一般入試で合格しました。運動部では、令和七年度愛媛県総合体育大会において、四年連続総合優勝を成し遂げた陸上競技男子、北高史上初の優勝に輝いたテニス部男子、十一年振り優勝のサッカー部、強豪私学の一角を倒し六十六年振り決勝進出を果たしたバスケットボール部女子、毎年優勝争いをする卓球部男子など、素晴らしい活躍ぶりです。文化部では、オール慶応VS早稲田大学野球松山大会で大学応援団とコラボし活躍した吹奏楽部、全国大会出場の棋道部、書道部、吟詠剣詩舞部、郷土研究部など。本当に誇らしい後輩たちが育っています。

しんどいこと、面倒なことから距離をとりたがる若者が多い中、北高生は自分が選んだそれぞれの険しい道で努力し、成長しています。まだ自分の学校、つまり、自分の妻に気付いていない後輩たちを、これからも皆様とともに「チーム北高」で応援していきたいと思えます。今後とも、御支援・御協力をどうかよろしくお願い致します。



体育大会 装飾パネル

愛媛女流書家連盟会長

藤岡抱玉 (千賀子) (北高10回)

TEL 090-8977-0177

(株)大野設計

取締役会長 大野 正勝 (北高8回)
代表取締役 大野 仁 (北高44回)

母校松山北高等学校の
さらなる発展を祈ります

愛媛県庁七星会

えがお
愛のくに 愛顔あふれる愛媛県





卓球部：全国高校選抜大会四国予選
男子団体 第2位（全国大会出場）



演劇部：愛媛県高等学校総合文化祭
演劇部門 優秀賞（四国大会出場）



郷土研究部：「地域の伝承文化に
学ぶ」コンテスト
地域民話研究部門（団体）
最優秀（5年連続）

北高生の活躍



第一〇三回全国高校サッカー選手権大会出場に際しましては、多くの御寄付を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで学校から吹奏楽部と一般生徒合わせて百六十名の応援団を組織、派遣することができ、選手たちに現地で声援を送ることができました。改めて心よりお礼申し上げます。寄付金の収支決算は、収入一七、六七〇、五九三円、支出一七、六七〇、五九三円、残額〇円で、応援団の派遣経費等に充てさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

同窓会報告

一二五周年 同窓会総会開催

六月十四日(土)十七時から、愛媛県民文化会館真珠の間で、同窓会総会が無事に行われました。総勢二五一名の方にご参加いただき、親睦を深めることができました。最多出席賞は、二十三名ご参加の16期の皆様。誠にありがとうございます。懇親会のラストは、歴代応援団の皆様の指揮のもと、校歌「澄みたる瞳」を三番まで大合唱！会場が一つになった瞬間でした。現役北高生のための「北斗奨学金」の募金を会場でお願しましたところ、七八、〇七三円ものご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

松山北高等学校同窓会役員	
顧問	関谷 勝嗣 (北高7回)
会長	遠藤 美武 (北高20回)
副会長	西岡 和久 (北高17回)
玉井 伸二 (北高25回)	
山本 司 (北高27回)	
八石 玉秀 (北高28回)	
成川 献次 (北高29回)	
坂本 大蔵 (北高31回)	
家串 正治 (北高33回)	
立花 祐二 (北高34回)	
上沖 尚史 (北高36回)	
富永 勝久 (北高14回)	
細川 潔 (北高25回)	
浜田 純子 (北高28回)	
中川 あゆみ (北高40回)	
堀田 真奈 (北高40回)	
光田 秀之 (北高42回)	



成川社会保険労務士事務所

成川 献次 (北高29回)

松山市味酒町2丁目18-1味酒04ビル2F
TEL 089(904)1314 FAX 089(904)4095



愛媛信用金庫

〒790-0002 愛媛県松山市二番町4丁目2番地11
TEL.089-946-1111(代)
卒業生 有志

総合広告看板・店舗ディスプレイ・各種イベント

株式会社

アート工藝社

松山市宮田町 1284-4 TEL/089-945-1141

上沖 尚史

(北高36回)

愛媛県立松山北高等学校同窓会

顧問 関谷 勝嗣 (北高7回)

事務所 松山市住吉2丁目10-41 電話(089)952-0001

支部だより

関東支部

宮下真知子
(北高33回)

十月十八日、銀座ライオンにて松山北高関東支部同窓会「北斗会」の総会・懇親会が開催されました。本部より遠藤美武会長(20回卒)、井上浩校長、近畿支部から青山愛一郎様(25回卒)、東高同窓会関東支部長 瀧口斉様、南高同窓会関東支部長 一色真人様、



西高・中等教育学校同窓会関東支部長 白石浩三様、愛媛県東京事務所長 三好康道様(38回卒)をお迎えし、総勢58名の方々が集う盛大な会となりました。

親睦会冒頭、今年、全国大会でベスト16という輝かしい成績を収めたサッカー部の監督兵頭龍哉先生(31回卒)の、ビデオメッセージが北高グラウンドより届きました。ニュースにもなった感動的なハイライトシーンには、思わず会場から歓声が上がりました。続いて、音楽と医療を結びつけた内容のプログラムで、その名も「北斗会のための『医院コンサート』」が披露

されました。ヴァイオリンとピアノの演奏の最後は、ドラマ「坂の上の雲」で流れていた「Stand Alone」でした。この曲は流石にご存知の方ばかりで、涙を浮かべる方もいらしたようです。

大西宏一様(16回卒)からは、ご子息大西拓也様が如何にして、現在NASA宇宙飛行士として活躍されるようになったのか、幼少の頃からの貴重なエピソードを伺う事ができました。

お待ちかねの抽選会では松山の逸品が並び、アナウンサーでご活躍の仲田真紀子様(49回卒)の楽しい司会進行によって会場の方々の会話が一段と弾みました。その熱気のまま、校歌・応援歌等を大合唱、応援団長、青山愛一郎様、佐々木宗明様(33回卒)のメールで会を締め括りました。毎年十月開催の「北斗会」、皆様是非一度覗いてみませんか、ご参加を心よりお待ち申し上げます。またこの場を借りて「北斗会」イズムの伝統を継承する幹事会の皆様、諸先輩方々、御礼申し上げます。

中部支部

支部長 細川 潔
(北高25回)

十一月二十三日に中部支部総会と懇親会を行いました。支部会員の出席者は同伴者(配偶者)を含めて七名でした。

支部長の細川の挨拶の中では、コロナ禍による令和二年から四年までの三回の開催中止に伴い出席者の減少がひときわ目立つ状況について、今後の支部活動について、今後の支部活動をいかにすべきか運営の課題にふれたものになりました。

その後の懇親会は校友歌斉唱から始まり、ご来賓の方々から挨拶をいただきました。同窓会会長の遠藤美武氏からは支部への励ましの言葉をいただきました、また、北高校長の井上浩氏からは北高の後輩生徒のスポーツをはじめ学業についての活躍、成績に触れ、北高が松山では際立っている状況を知ることができました。

乾杯、会食、懇談と続き、出席者からの自己紹介などで日々の生活を垣間見ることができました。

広告募集中

県警では若い力を待っています。

愛媛県警察 北斗会一同



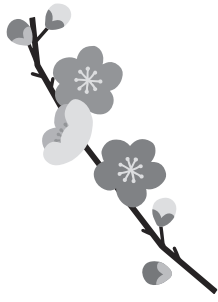
母校のますますの発展を応援しています



幸せになろう。
松山市
MATSUYAMA CITY

《松山市の将来都市像》
人、まち、仕事がつながる交流拠点
『SETOUCHIまつやま』

松山市役所 七星会



中部支部の今後の課題は役員の高齢化、そして固定化があります。新しいメンバーにいかんして参加していただけるか、その工夫など重ねて、支部活動を維持、継続させていかなければならないと思いを強くしました。

近畿支部

支部会長 野本 義邦

(北高23回)

六月二十九日(土)近畿支部総会・懇親会を開催し、来賓として本部からは遠藤会長、井上校長先生がご出席くださいました。

総会においては、富永会長の退任に伴い新会長として野本が選出されました。新三役は若干若返りました。が、されど全員七十歳以上と、支部の実情を反映したものとなりました。出席者も三十名を切り、今後の大きな課題となっておりま

す。さて、懇親会ですが、昨年恒例となった出席者による「三分間スピーチ」四名の方がそれぞれの思い出や趣味、地元での町おこしなどを語りました。今回初の催し「俳句」には四十四句の投句があり、出席者の投票で優秀句を選び、表彰を行いました。これらについては出席者からの評判も良く、次回もやろう!との声が多数を占めました。

これも昨年からの取り組み

みですが、会場での松山銘菓・中島「アマレット」の寄附強制付(?)の販売、そして、完売!!

*強制寄附の仕組みは前もってお釣りを商品に貼り付けています。例えば八〇〇円のものであれば二〇〇円、隣に寄附箱を設置。さすが税理士の事務局長、支部財政を考えていらっしゃるようです。

また、会場には織田さん(19期)線画を今回初めて展示しました。後

日談ですが、織田さんの作品(会場展示とは別)が大阪狭山市展覧会で最高賞の「市長賞」を授賞しました。

さて、冒頭でも述べましたが同窓会参加者の高齢化・減少傾向にどう対処していくかが大きな課題となっています。近畿支部管内に同窓生は約千余名(同窓会名簿R6年版)が在住されています。まず当面の目標は五パーセ

ント五十名以上の参加者を目指したいと思っています。本部・各支部へのお願いですが同級生で親しい方、部活動等での先輩後輩で近畿支部在住の方がいらつしやいました是非共お声をかけていただければ幸いです。今後は相互間でこのような取り組みを含め、連携を深めたいと思いますので、よろしく願います。



愛媛県立松山北高等学校同窓会

会長 遠藤 美 武 (北高20回)

松山北高等学校
第34回卒業生

TOYOTA L&F

トヨタL&F西四国株式会社

不屈 不撓

伝統の北卓会

(松山北高校卓球部OB会)

会長 吉田 恭三 (青雲)

同窓生のひろば

夢はアナウンサーになること

門田 洋子
(北高12回)

北高六十周年記念に源氏物語の末摘花を上演。国語の竹本和子先生の演出で私は乳母の役でした。進学するかどうか迷っていた私に大学に行くようにとすすめてくれた先生でした。当時女子の進学率は一割程でした。クラス担任の村上良三先生にアナウンサーになりたいので大学に行きたいと相談すると、四年制の大学で教職をとりなさい。あこがれのアナウンサーが無理でも教師の道があるからと助言してくれました。そして高知女子大学英文科に入學、卒業して無事南海放送のアナウンサーになりました。しかしなかなかしゃべれない落ちこぼれのアナウンサーでした。村上良三先生からハガキが届きました。『沈黙は金、雄弁は銀』という言葉がある。焦

らず自分の気持ちを素直にしゃべるアナウンサーにならなさい。」と、沈黙は金の意味はよく聞くということでした。男性アナとの番組で「ハイ」「そうですか」などあいづちばかりの私をリスナーの皆さんが応援してくれ、門田さんの声をもっと聞きたいと、ファンレターも届くようになりました。受験生が聞いている深夜番組「夜のバラード」は不安がいっぱいの受験生と、自信がない不安だらけの私の心と心が共感しあって人気番組となりました。聞き上手なリスナーさんに助けてもらい私もや々とアナウンサーの土台ができました。その頃の番組の没ハガキを蘇らせる「青春同窓会」という番組は二〇〇七年から始まりもう十八年になります。全国からリクエストも届きます。私が小学生の頃からのアナウンサーになりたいという夢は、北高の先生の的確な進路指導のおかげで叶いました。八十三歳の今もアナ

ウンサーとして仕事を続けることができ本当に幸いです。

南海放送 土曜午後五時
青春同窓会 聞いて下さい。

赤い屋根の体育館

村上 悦朗
(北高22回)

昨年、北高体育館の天井のモルタル片が剥がれて落下したとのニュースを目にしました。高校時代はバレーボール部に所属し練習に汗を流す毎日でした。当時、体育館のある公立高校は県内で二校のみ。とても



県 総 体
初戦シード校の壬生川工業に勝利、勝ち進みベスト8
ゼッケン1がキャプテンの村上様
(試合会場は松山聖陵高校)

恵まれた環境を与えていただいたと感謝しております。現在の屋根の色はシルバーから、竣工当時の赤色に戻されました。練習の後は床に寝そべってよく天井を眺めていたことを思い出します。ある時、ちょっとした悪事がバレて体育館入口の泥落としマットの上に二時間正座させられた事がありました。私と相棒の渡部貞夫君です。正座の後レシーブの猛特訓。今となつては懐かしい思い出ですが、その相棒も残念ながら一昨年逝去しました。合掌。

卒業後は関西学院大学に進学。バレーは続けまし



◆住所：愛媛県松山市番町3丁目5-10
◆TEL&FAX：089-921-8241
◆営業時間：7：00～21：00 ◆休日：なし
◆Mail：ts_arrow@yahoo.co.jp
日陽館弓道場
●〒790-0812 松山市松前町3丁目3-6
●TEL：089-945-5273 ●駐車場あり
お酒1本からでも配達いたします。愛媛の地酒に力を入れています。

興栄海運株式会社

松山市若葉町2番5号 TEL(089) 951-1588

本づくりの(株)松栄印刷所

代表取締役 森 孝 (北高25回)
松山市三番町7丁目9-2 ☎(089) 941-3334(代)



スポーツ用品全般
有限会社 **インダスポーツ**
石田 治 (北高22回)
松山市清水町2丁目20-15 TEL 927-3300 FAX 925-6210

た。一九七二年ミュンヘンオリンピックの女子バレー代表チームの壮行試合にスタッフとして参加した事がありました。女子が銀メダルで男子は金メダルに輝き日本国内が大いに盛り上がった時代でもありました。

大学卒業後は筆記具メーカーのパイロットに就職。その間、転勤で松山に勤務した事もあり、同期の仲間とよく飲んで騒いで語り合ったものです。

満六十五歳で定年退職。家族の了解を得て単身で生まれ故郷の二神島に帰ってきました。寂れゆく一方でまさに「限界集落」の島を何とかしたいと事業を計画しましたがコロナ禍で予定変更。現在は「紅まどんな」「せとか」等の柑橘類と野菜栽培を行っています。地域の世話役を引き受けたり、行事に参加したりと何かと忙しい日々を過ごしています。

おかげさまで今日まで大病もせず、いたって健康です。家族との約束で、あと五年間頑張つて大阪に戻ろうかと考えています。

母校に寄せる

温かな記憶

沖 一泰
(北高32回)

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。現在、私は松山北高校のほど近くでホテルを営んでおります。宿泊された方と地域の話をする機会も多く、地元の景色や学校の話題が出るたびに、当時の思い出がふと心の奥からよみがえります。「この道は変わりましたね」「あのあたりはどうになりましたか」といった会話を交わすと、高校時代の自分が顔を出し、どこか胸が温かくなるのを感じます。また、仕事の行き帰りに母校の前を通るたび、懐かしい情景が静かに浮かび上がってきます。

とりわけ心に残っているのは、ラグビー部での日々です。練習後の帰り道に感じた夕方の風、土の匂いの中に混じる部活の掛け声。あの頃は特別だと思わず当たり前に受けとめていた景色が、今ではどこか宝物のように思えてきます。私たちのグラウンドは野

球部やサッカー部、ソフトボール部、陸上部と共用で、いつもどこから掛け声やボールの音が響いていました。広いようでいて実際は狭く、さまざまな部活動が同時に青春を過ごしていたあの場には、不思議な一体感がありました。後方で野球部がバッティング練習をしていると打球が飛んでくることもあり、少し痛い思いをしたこともありましたが、今となつてはそれすら懐かしい笑い話です。互いに声を掛け合い、気を配りながら場所を分け合っていたあの日々には、競技の違いを超えた温かい時間が流れていたように思います。

高校でラグビーと出会えたことは、社会に出た今の自分にとって大きな支えとなっています。仲間と励まし合い、ぶつかり合い、悔しさも喜びも分かち合つた経験が、今も確かな力として心に息づいています。母校の前を歩くと、その記憶がそつと背中を押してくれているように感じます。これから同窓生の皆さまがそれぞれの道で輝かれますこと、そして松山北高

校が変わらぬ活気とともに未来へ歩み続けていくことを心より願っております。

絆を深めた

三十五年の軌跡

泉 正三
(北高42回)

卒業から十九年目を迎えたある日、私はひょんなことから、次年度に控える卒業二十周年記念同窓会の実行委員長という大役を引き受けることになりました。

準備期間を経て迎えた同窓会当日。卒業から二十年目という大きな節目の会だったということもあり、予想を上回る多数の参加者が集まりました。会場には本当に久しぶりに顔を合わせる旧友たちの姿も多く、盛大に会が盛り上がりました。

その後、二十五周年同窓会は無事執り行われましたが、続く四十八歳での卒業三十周年は、準備を進めていた最中に新型コロナウイルスの影響を受け、やむなく中止という苦渋の決断となりました。

「甲子園のアルプススタンドで応援がしたい」

松山北高野球部OB会
会長 光田 秀之
(北高42回)

北 辰 会
— ほしんかい —



夢、旅、思い出づくり。観光庁長官登録(1種)旅行業第613号

株式会社 日本交通社

代表取締役社長 光田 秀之 (北高42回)

〒790-0878 松山市勝山町1-18-10(日本交通社ビル) (089)946-3911代

写真 & ビデオ まつばら

代表取締役 松原 利彦・広子 (北高19回)
松山市大街道3丁目(ローブウェイ街) TEL 933-2848

松山市農業協同組合

松山市三番町8丁目325-1

それから時を経て、今回十年ぶりの開催となった卒業三十五周年同窓会は、令和八年一月二日、再び盛大に実現することができました。

今回の準備を進める中で、同級生たちとの雑談を通して、各人が本場に様々な分野で力強く活躍していることを肌で感じました。

改めて母校北高の持つパワーを感じるとともに、自分自身も「母校の名に恥じない生き方」をこれからも続けていこうと、強く気を引き締めています。

また、社会のあらゆる場面で、北高出身であることが分かれると、途端に会話が弾み、打ち解ける経験を多くしてきました。この事実が私たちが城北の学び舎で青春のひと時を過ごし、共通の価値観を育めたことへの、何よりの証だと感じています。

「澄みたる瞳」という素晴らしい校歌も、会社の北高会などで歌う機会がありますが、世代を問わず全員が歌えるため、毎回強い一体感が感じられています。改めて、母校に在籍できたこと、そして旧友との絆

に深く感謝し、これからも過ごしていきたいと思えます。

人間万事塞翁が馬

辻 加世子
(北高52回)

『エーイヤーヤエイヤ……』今でも夢に出てくる、鮮明に思い出すあの日。

私の高校生活の大半は部活に明け暮れていました。私は、女子ハンドボール部に所属させていただき、部活一色の毎日を過ごしていました。

当時は、インターハイや選抜にどんな出場している先輩方の元、自然と自分達もそうなものだと思います。自分たちの代では自分たちの代ではなかなかできず、恥ずかしさと後悔のような想いがあったことを覚えています。

北高の校訓に『文武両道』が掲げられています。恩師の部活での恐怖制裁で

無理やりこなししていたように思います。もっと勉強しておけばよかったと思っているので、頑張つて勉強してください！ そんな中、かけがえのない友達、先輩にもたくさん恵まれ、現在でも、北高出身というところと何と見知らぬ北高出身の方たちと仲良くなる機会が多くなると一致団結する機会に恵まれることが多いのが北高出身のいい所だと感じています。

私は現在、東温市で株式会社アラクル(Boulangerie Maison辻)



北高時代、女子ハンドボール部の皆様と上から二列目の左から二番目で、はちまきを巻いてピースをしているのが辻様

というパン屋を十一年経営させていたという、二十五年十二月には、初の自社建設の店舗を構える事ができました。

私の人生は決して順風満帆ではなく、間違いや、挫折、苦しいこと悲しいことたくさん経験してきました。自分が辛いとき、自分の中の世界では真つ暗闇でどうしようもなく捉えられ、どうしようもなく感じる場面も出てくると思います。絶望して逃げたくなる時もある。そんな時、支えにしたい言葉があります。

『人間万事塞翁が馬』

その時、その一瞬いいと感じられてものに悪くなることもある。逆に悪い出来事でさえも、振り返るとよくなることもある。

恩師に教えてもらった言葉を繋いでいきたいと思えます。

失敗を恐れず、北高魂で前向きにチャレンジしていきましょう！ そしていつか皆様と出会える日を楽しみに待っています！

情性のすゝめ

岩城 慎也
(北高62回)

大学受験に向けてラストスパートに入った勤務校の三年生を見ていると、十五年前の自分を思い出す。決して派手な高校生活ではなかったが、北高で過ごした三年間が私の人生を明るく彩ってくれていることは疑いようがない。

野球部での活動初日、朝からの体調不良と緊張が重なった私は、初めて集まった入部希望の同級生たちの前で嘔吐した。後から聞いた話では、同期たちは「こいつは絶対に辞める」と思っていたらしい。三年間で背番号を貰えたのは、全員がベンチに入れた一年生大会の時のみ。引退する時に貰う通算成績に記されていた全七打席の文字には流石に驚いた。それでも野球部での三年間は、私にとっては誰よりも輝かしい日々だったと胸を張って言える。

「選択肢は一つじゃない。しんどいなら辞めてもいい。」その通りだと思ふ。一方で、続けたからこそ

そ得られるものもあるとも思ってしまう。目の目を見なくても三年夏まで続けた部活。教員になると決めたら、採用試験以外は就活もしなかった。頑固なのか、情性なのか、意志が強いのか。どうやら自分は途中で辞めることを選ばない人間らしい。ただ私にとってはそれが当たり前で、大切な選択だと疑わなかったからこそ、それなりに良い人生が送れていると思う。教諭として採用され、初任校で配属されたホッケー部。何もしないのは嫌だからと生徒に交じって一緒に練習をしていたら、いつの間にか監督としてインターハイや国スポの舞台に立っていた。その肩書きはもちろん生徒の頑張りあつてのもので、身の丈に合わず恐縮するばかりだが、目の前のことをめげずに続けていたおかげで、貴重な経験を味わせてもらっている。

くかもしれないと楽しみにしておこう。

感性を磨く

アフザール・ミナヘル (北高72回)

私が在学していた頃と比べ、北高の制服も随分変わりましたね。卒業後、一度だけ弟の懇談で母について北高を訪れたことがあります。数年ぶりの職員室は当時のままで、とても懐かし、先生方に再びお会いできたことが嬉しかったです。

北高卒業後、私は山口大学国際総合科学部へ進学しました。入学当初は不安もありましたが、北高出身の同期や学務の方に支えていただき、安心して大学生活を送ることができました。在学中にはデンマークへ一年間留学し、苦労も多かったですが、自分の視野が広がり、大きく成長できたと感じています。今でも現地で出会った友人と交流が続いていることは、何よりの財産です。

高校時代の思い出の中でも、特に部活動で出会った

仲間の存在は大きなもので、今でも定期的に会ったり、大学の卒業旅行で海外へ行ったりするほど深い関係が続いています。留学中、同期の一人が電話越しに言ってくれた「生きていれば何とかなるよね」という言葉は、今でも私の支えになっています。

高校三年生の時、担任の先生が「受験期であっても感性を磨くことを大切にしてほしい」と言われたことを今でも覚えています。現在九州大学大学院でデザインを専門的に研究しており、その言葉の意味を専門の視点からも実感するようになりました。AIが日常に浸透する今だからこそ、人の心に寄り添うデザインには感性や共感力が欠かせないと実感しています。

北高で過ごした時間と、人との出会いは、今の私を形づくる大切な土台です。これからも学びを続けながら、当時いただいた言葉を胸に歩んでいきたいと思っています。



校内マラソン大会

令和八年二月三日、校内マラソン大会が開催されました。創立百周年記念誌によれば、交通事情を考慮し、従来の校外から校内に設定したコースに変更して最初に実施したのは平成三年二月一日。初回から現在同様、男子五、〇〇〇メートル、女子三、〇〇〇メートルを各学年男女各二組に分かれての実施であったとのことです。校内のため、コースのどこでも生徒や先生からの声援があり、選手は全力を出し切れた様子で、いい伝統が築かれています。表彰式は天井の工事を終え、昨年末から使えるようになった体育館で実施されました。

祝 おめでとう
ございます

令和七年度春の叙勲

瑞宝双光章

浅井 謙次様
(北高20回)

学校歯科医 学校保健功労

瑞宝双光章

有馬 光孝様
(北高22回)

元近畿運輸局海上安全環境部主席海事技術専門官
国土交通行政事務功労

令和七年度秋の叙勲

瑞宝中綬章

柳原 英児様
(北高14回)

広島大名菅教授
教育研究功労

瑞宝双光章

二神 瑞隆様
(北高17回)

元松山刑務所教誨師
矯正教育功労

瑞宝単光章

政田 恵親様
(北高27回)

元松山市消防団分団長
消防功労

活躍する同窓生

等々力、西ヶ丘、駒沢

兵頭 龍哉
(北高31回)

「青い波シード3校のむ」新田高校と延長とPK戦の死力を尽くした先に八年ぶりの栄冠が待っていました。PK戦はGKの市中が三本も止めて全国大会出場を決めました。主力は唯一の三年生森を中心に二年生八名、一年生二名と若いチームでした。準々決勝の帝京第五をPK戦で退け、準決勝は今治東を1対0と勝利し、決勝に臨みました。近年勝ったことのない相手に対してどのように挑むかチームで話しあった結果、我々の意志である「美攻賢守」、能動的に掴みに行こう、パスを出させて奪いつないで攻める、これを貫こうと決意しました。試合は長丁場ですので上手くいかない時もありますが、自分たちで直ちに修正する力を我々は準備していました。それは、サッカーだけではなく学習と部活動の高

いレベルでの両立を目指した松山北高生だからこそ可能なことでした。もちろん保護者、先生方や今までお世話になった指導者の方々のご尽力を彼らはしっかりと貯蓄していました（私は、彼らを試合会場にマイクロバスで安全に届ける運転手です）。

そして、国立競技場での入場行進、愛媛県立松山北高等学校の文字が電光掲示板に映し出された時は涙が出ました。

全国大会の三会場ともに大声援の後押しがあり、自分たちの力を出すことができました。堀越戦は、レベルの違いを見せつけられましたが、これが全国レベルだという誰もができない経験ができました。そして、テレビ、新聞やSNSで松山北の文字が堂々と出たことに私は「松北最高」とつぶやいていました。

等々力、西ヶ丘、駒沢の三会場での松山北は全国の方々にインパクトを与えたようです。勉強と部活動

を一生懸命やってるんだ、「美攻賢守」なんだ、松山北やるなあと。

しかし、松山北高生はまだまだやれます。ステイしていられます。チーム松山北でこれからもよろしくお願いします。

もう一度、「松北最高!!」



経験

末光 瑛翔
(北高77回)

「8年ぶり選手権出場、愛媛県勢33大会ぶりベスト16」「11年ぶり全国高校総体出場」

自分たちの代となり結果だけを見ると、順風満帆な一年をおくったのだと多くの方は思うかもしれませんが。しかし総合的にみると



うまくいかないことの方が多かったように思います。勝てる我慢していた相手に負ける、連携がかみ合わない、ミスが連続する、あげだすときりがありません。チームメイト同士で厳しいことを要求し、言い合うことも多々ありました。それでも私たちは挫けることなく主体的に日々の練習に取り組みました。

チャレンジャー精神で臨んだ昨年の選手権の愛媛県予選。チーム一体となり、一回戦から目の前の試合に勝つことだけを意識し、優勝を果たすことができました。全国大会でも同じく一試合一試合を大切に、松北サッカー部初の全国ベスト16という結果を残すことができました。

最高の結果を残したものの、全国ベスト16という肩書きは想像以上に重かったです。全国大会以降、絶対愛媛県のチームには負けてはいけない、そんな思いから自分たちでプレッシャーをかけてしまいました。そのため県新人準決勝敗退、全勝を目指していたリーグ戦も開幕から4試合で2勝2敗と思うようにいかない時期もありました。しかし私たちは結果がでないことをマイナスに考えすぎず、苦しい時期をみなで乗り越え、チームとしてレベルアップしました。

原点であるチャレンジャー精神を忘れず、三年生にとって最後の大会でもある県総体では再び優勝し、冬夏連覇をすることができました。かけがえのない仲間とともに過ごした時間はこれからの人生においての大きな財産となりました。

たくさんの方の支えがありこのような貴重な経験をすることができました。常に感謝の気持ちを持ち続けていきます。今後とも松北サッカー部の応援よろしく申し上げます。

卒業50年記念

澄みたる瞳のその先に

卒業五十年を迎えて

遠藤 幸裕

(北高26回)

卒業後五十年という節目の年を迎えた私たちを、第七十六回卒業証書授与式へと母校は温かく招いてくださいました。古希を迎えた私たちにとって、高校卒業から半世紀という歳月はあまりにも早く過ぎ去ったように感じられ、愛媛県武道館の卒業証書授与式という文字が目に入った瞬間から、懐かしさとともに胸に込み上げるものがありました。久しぶりに集った同級生の顔には、それぞれの歩んできた人生の重みを感じられました。

式典で特に印象に残ったのは、歴代三本の校旗が、三百三十九名の卒業生が凛として着席している中、静かに入場してきた場面でした。松山北高の校旗とともに、前身校から受け継がれてきた歴史と伝統が一体となり、母校が積み重ねてきた長い歩みの重みと誇りを、あらためて強く感じました。

また、受付では在校生が落ち着いた態度で、笑顔を絶やすことなく席まで手際よく案内してくれました。その自然な気配りと礼儀正しさに、現在の母校が大切にしていく教育の姿勢が感じられ、頼もしく思いました。

校歌斉唱の際に耳にした「澄みたる瞳、叡知を秘めて」という一節は、若き日の自分をそっと呼び戻すようで、懐かしさとともに深く心に残りました。歌声に包まれながら、教室や校庭で過ごした日々、仲間と語り合った時間が次々と思い出されました。

高校時代を振り返れば、体育大会で銀河・青雲・飛龍・北斗のグループに分かれ、仲間と力を合わせ、声を枯らして競い合った思い出が今も鮮やかです。また同級生同士が十一組

も結婚したことは、私たちの絆の深さを物語る、今なお誇らしい出来事だと感じています。文武両道を掲げ、進学にもスポーツにも確かな成果を上げている現在の母校の姿に、心から敬意を表するとともに、これからも多くの若者を育て、さらなる発展を遂げていくことを願っています。



第76回卒業証書授与式 (R7.3.1 於 愛媛県武道館)

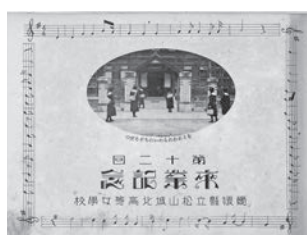
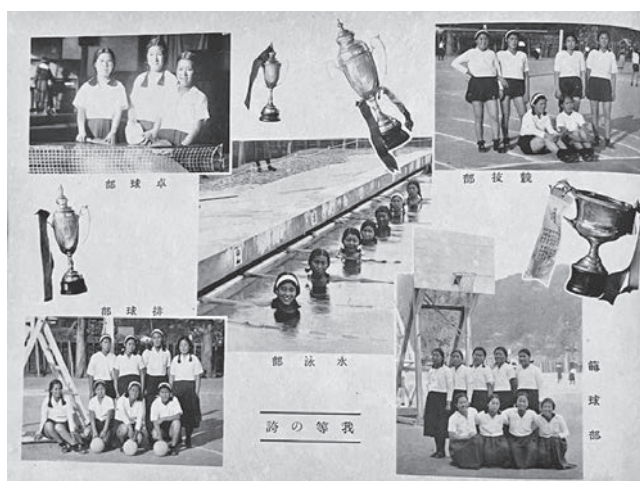
城北高女の卒業アルバムより

今年度、第十二回愛媛県

立松山城北高等学校(城北高女)の卒業アルバムを、卒業生のご家族の方から寄贈していただきました。ページをめくると、とてもハイカラなデザインのタイトルに感動しました。

城山からの校舎遠景や桜の季節の立派な木造の本館、当時の運動会の様子や部活動の集合写真なども掲載されており、時代が変わっても「学校らしさ」

「高校生らしさ」といった雰囲気には現在の北高と重なる部分があると感じました。アルバムの巻末には、第十二回生の方が在籍されていた昭和九年度から十二年度までの校内外の行事等の記録も掲載されていて、その中に多くみられる「出征兵士を見送る。」という文に時代を感じました。寄贈していただきましたご家族の方に改めて感謝申し上げます。



令和6年度末大学等入試結果

区 分	大 学				文部科学 省所管外 の大学校	短期大 学	専門学 校	就 職	その他	合 計
	国 立	公 立	私 立	計						
新 卒	166	61	771	998	2	5	10	0	14	1,029
旧 卒	6	1	19	26	0	0	0	0	0	26
計	172	62	790	1,024	2	5	10	0	14	1,055

《 教 職 員 異 動 状 況 報 告 》

高体連事務局	事務係長	講師	〃	非常勤講師	〃	教 諭	非常勤講師	教 諭	非常勤講師	講 師	〃	〃	教 諭	非常勤講師	〃	教 諭	教 頭	財務指導監	職 名
〃	事 務	情 報	家 庭	〃	英 語	美 術	保 体	理 科	〃	〃	数 学	〃	地 公	〃	〃	国 語	保 健	事 務	教科等
神森 幸子	三宅 俊輔	岡田 尚也	對尾亜寿香	永井 友希	鏑本久仁江	高橋 昌夫	吉村 紗葉	小牧 可奈	岡野 汰紀	柳澤屋友美	米澤 太器	佐伯 直紀	越智 隼人	中田易功子	山下 憲人	平塚ゆかり	西尾 しき	米子由佳里	氏 名
退職	今治工業高校	退職	新規採用(北宇和)	退職	伊予高校	退職	退職	伊予農業高校	新規採用(弓削)	松山南高校	川之江高校	しげのぶ特別支援学校	松山西中等教育学校	退職	松山西中等教育学校	退職	北条高校	県立図書館	転出先等

★転出・退職の部

高体連事務局	専門員	初任研指導員	養護助教諭	教 諭	〃	非常勤講師	〃	教 諭	非常勤講師	再任用教諭	教 諭	講 師	〃	〃	教 諭	再任用教諭	〃	非常勤講師	〃	教 諭	教 頭	財務指導監	職 名
〃	事 務	〃	養 護	情 報	〃	家 庭	英 語	美 術	保 体	〃	理 科	〃	〃	数 学	〃	地 公	〃	〃	〃	国 語	理 科	事 務	教科等
江刺亜紀子	須之内文子	藻利 明久	清水 裕子	曾根 歩華	里見 綾華	黒田 杏奈	芳野勅使雄	能田 新	安田 もも	石丸 靖夫	石黒 貴志	八木 智哉	武智 歩美	岩城 俊哉	磯崎 文博	篠原 孝明	三浦 真佑	日高 功大	新海 莉	笠原 大河	渡部 勇樹	出来 郁恵	氏 名
〃	松山盲学校	松山北高校中島分校	松山商業高校	新規採用	〃	松山商業高校	松山商業高校	今治西高校	〃	上浮穴高校	愛大附属高校	〃	育休復帰	八幡浜高校	長浜高校	松山商業高校	〃	〃	東温高校	川之江高校	伊予高校	総合教育センター	前任校等

★転入の部

運動部・文化部活動報告

愛媛県高等学校総合体育大会

陸上競技	男子100m	第3位
	男子400m	第2位
		第3位
	男子400mH	第1位
	男子4×400mリレー	第2位
	男子走高跳	第2位
	男子走幅跳	第1位

	男子三段跳	第2位
	男子ハンマー投	第1位
	男子やり投	第2位
	男子八種競技	第1位
	男子総合・トラック・フィールド	第1位

	女子棒高跳	第3位
水泳	男子100m背泳ぎ	第2位
	男子200m背泳ぎ	第2位

		第3位
	男子4×100mメドレーリレー	第2位
	男子総合	第2位
	女子4×100mメドレーリレー	第2位

バスケットボール	女子	第2位
卓球	男子団体	第2位
	男子シングルス	第1位

		第2位
	男子ダブルス	第3位
	女子団体	第3位

テニス	男子団体	第1位
	男子シングルス	第1位
	男子ダブルス	第3位

ハンドボール	女子	第3位
サッカー	男子	第1位
剣道	女子団体	第3位

ライフル射撃	女子エアライフル60WJ	第3位
--------	--------------	-----

四国高等学校選手権大会

陸上競技	男子100m	第4位
	男子400mH	第5位
	男子5000mW	第5位
	男子4×400mリレー	第4位
	男子走幅跳	第1位

		第5位
	男子三段跳	第3位
	男子ハンマー投	第3位
	男子やり投	第1位
	男子総合・フィールド	第2位

水泳	男子200m背泳ぎ	第4位
	男子200m平泳ぎ	第5位
	男子4×100mメドレーリレー	第4位
	男子400m個人メドレー	第7位
	男子100m背泳ぎ	第7位
	男子4×200mフリーリレー	第7位
	女子4×100mフリーリレー	第8位
	女子4×100mメドレーリレー	第6位
	女子4×200mフリーリレー	第6位

テニス	男子シングルス	第1位
-----	---------	-----

全国高等学校総合文化祭香川大会

棋道	囲碁部門（男子個人）	出場
吟詠剣詩舞	剣詩舞部門（合同）	出場
コーラス	合唱部門（えひめ合同）	出場

書道 書道部門

全国高等学校総合体育大会

陸上競技	男子100m	出場
	男子400mH	出場
	男子5000mW	出場
	男子4×400mリレー	出場
	男子走幅跳	第2位

		出場
--	--	----

	男子三段跳	第10位
--	-------	------

	男子ハンマー投	出場
--	---------	----

	男子やり投	出場
--	-------	----

卓球	男子シングルス	出場2名
----	---------	------

テニス	男子シングルス	出場
-----	---------	----

	男子団体	出場
--	------	----

全国高校書道展

書道	団体	優秀校賞
----	----	------

国民スポーツ大会

陸上競技	少年男子A三段跳	出場
------	----------	----

	少年男子Aやり投	出場
--	----------	----

卓球	少年女子	出場
----	------	----

サッカー	少年男子	第4位
------	------	-----

バスケットボール	少年男子	出場
----------	------	----

愛媛県高等学校新人大会

陸上競技	男子100m	第3位
------	--------	-----

	男子400mH	第1位
--	---------	-----

	男子4×100mリレー	第2位
--	-------------	-----

	男子走幅跳	第3位
--	-------	-----

	男子やり投	第2位
--	-------	-----

	男子総合	第1位
--	------	-----

	男子フィールド	第2位
--	---------	-----

	女子400mH	第3位
--	---------	-----

	女子5000mW	第3位
--	----------	-----

	女子4×400mリレー	第3位
--	-------------	-----

	女子走高跳	第2位
--	-------	-----

	女子棒高跳	第3位
--	-------	-----

	女子三段跳	第2位
--	-------	-----

	女子総合・トラック	第3位
--	-----------	-----

	女子フィールド	第2位
--	---------	-----

水泳	男子100m背泳ぎ	第1位
----	-----------	-----

		第2位
--	--	-----

	男子200m背泳ぎ	第1位
--	-----------	-----

		第2位
--	--	-----

	男子100m平泳ぎ	第3位
--	-----------	-----

	男子200m平泳ぎ	第3位
--	-----------	-----

	男子4×50mフリーリレー	第1位
--	---------------	-----

	男子4×100mメドレーリレー	第1位
--	-----------------	-----

	男子4×100mフリーリレー	第2位
--	----------------	-----

	男子総合	第2位
--	------	-----

	女子400m個人メドレー	第2位
--	--------------	-----

卓球	男子団体	第1位
----	------	-----

	男子シングルス	第2位
--	---------	-----

	女子団体	第3位
--	------	-----

柔道	女子個人48kg級	第3位
----	-----------	-----

剣道	男子個人	第1位
----	------	-----

	男子団体	第3位
--	------	-----

	女子団体	第3位
--	------	-----

バレーボール	男子	第2位
--------	----	-----

U18/U16陸上競技大会

陸上競技	走幅跳	出場
------	-----	----

三段跳	出場
-----	----

やり投	出場
-----	----

女子棒高跳	出場
-------	----

全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

AR40WJ	出場
--------	----

JAPAN CUP 2025チアリーディング

日本選手権大会	出場3名
---------	------

日本クラブユース女子サッカー大会U-18

	出場
--	----

全日本U-18女子サッカー選手権大会

	出場
--	----

全日本自転車競技選手権大会

シクロクロス男子ジュニア	出場
--------------	----

愛媛県卓球選手権大会

男子ジュニアシングルス	第2位
-------------	-----

	第3位
--	-----

全国高等学校選抜卓球大会四国地区予選

男子団体	第2位
------	-----

四国卓球選手権大会

男子ジュニアシングルス	第3位
-------------	-----

天皇・皇后杯全日本卓球選手権大会

男子ジュニアシングルス	出場2名
-------------	------

「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト

愛顔グローバル（郷土研究）

地域民話研究部門（団体）	最優秀
--------------	-----

高校生英語弁論大会

A部門	奨励賞
-----	-----

B部門	優秀賞
-----	-----

愛媛県高等学校総合文化祭

文化創造部 演劇 演劇部門	優秀賞
---------------	-----

吟詠剣詩舞 剣詩舞部門（合同）	優秀賞
-----------------	-----

剣詩舞の部	優秀賞
-------	-----

	奨励賞
--	-----

書道 書道部門	優秀賞2名
---------	-------

文芸部門（散文）	奨励賞
----------	-----

リーフレット原画	優秀賞
----------	-----

愛媛県高等学校選抜大会

弓道 女子個人	第3位
---------	-----

四国高等学校新人陸上競技選手権大会

陸上競技 男子やり投	第1位
------------	-----

男子3000mSC	第3位
-----------	-----

伊藤園おーいお茶新俳句大賞

	佳作特別賞
--	-------

	佳作
--	----

全国高校生創作コンテスト

短編小説の部	佳作
--------	----

	入選
--	----

高校生英語スピーチコンテスト

	奨励賞
--	-----

国際高校生選抜書展（書の甲子園）

団体（中・四国地区）	優秀賞
------------	-----

個人	優秀賞
----	-----

書界展

学生部	県知事賞
-----	------

	県教育長賞
--	-------

愛媛県学生書道展

	特選2名
--	------

読書感想画中央コンクール高校の部愛媛県審査

美術	優秀賞
----	-----

令和 6 年度 決算報告

(単位:円)

収入決算額	3,911,312	支出決算額	3,308,979	差引残額	602,333
-------	-----------	-------	-----------	------	---------

(次年度へ繰越)

収入の部

科 目		予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
繰 越 金		1,226,569	1,226,569	0	前年度から繰越
入 会 金		1,060,000	1,039,000	△ 21,000	1,000円×3年
会 費		1,200,000	1,399,000	199,000	年会費
雑 収 入		265,431	246,743	△ 18,688	
内 訳	北 斗 広 告 料	250,000	240,000	△ 10,000	北斗だより広告料
	名 簿 売 上 等	15,000	6,200	△ 8,800	名簿、記念誌売上外
	預 金 利 息 等	431	543	112	預金利息
計		3,752,000	3,911,312	159,312	

支出の部

科 目		予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
転 退 職 記 念		60,000	71,000	△ 11,000	転退職記念品料
慶 弔 費		10,000	22,110	△ 12,110	
通 信 費		720,000	742,281	△ 22,281	北斗だより等発送費、郵送料
印 刷 費		350,000	361,900	△ 11,900	北斗だより外印刷代
会 議 費		1,080,000	1,081,006	△ 1,006	支部総会旅費外
総 会 費		150,000	150,000	0	総会補助 (240名)
事 務 費		150,000	120,142	29,858	会費振込手数料外
部 活 動 等 振 興 費		380,000	411,510	△ 31,510	全国大会出場顕彰用横看板外
雑 費		60,000	40,730	19,270	追録名簿代補助
賛 助 金		260,000	260,000	0	北斗奨学会賛助金
準 備 金		400,000	0	400,000	積立金
予 備 費		132,000	48,300	83,700	
計		3,752,000	3,308,979	443,021	

令和 7 年度 会 務 状 況										令和 6 年度 会 務 報 告									
令和 7 年					令和 6 年					令和 8 年（予定）					令和 7 年				
4 月 11 日（金） 第一回役員会					4 月 5 日（金） 第一回役員会					2 月 10 日（火） 北斗だより第 47 号 発行					4 月 11 日（金） 第一回役員会				
5 月 10 日（土） 第二回役員会					5 月 11 日（土） 第二回役員会					2 月 28 日（土） 同窓会入会式					5 月 10 日（土） 第二回役員会				
常任理事・理事会					常任理事・理事会					卒業式					常任理事・理事会				
同窓会総会					同窓会総会					卒業式					同窓会総会				
近畿支部総会					近畿支部総会					卒業式					近畿支部総会				
北斗だより編集委員会					北斗だより編集委員会					卒業式					北斗だより編集委員会				
関東支部総会					関東支部総会					卒業式					関東支部総会				
中部支部総会					中部支部総会					卒業式					中部支部総会				
令和 7 年					令和 6 年					令和 8 年（予定）					令和 7 年				
2 月 10 日（月） 北斗だより第 46 号 発行					2 月 10 日（月） 北斗だより第 46 号 発行					2 月 28 日（金） 同窓会入会式					2 月 10 日（月） 北斗だより第 46 号 発行				
3 月 1 日（土） 卒業式					3 月 1 日（土） 卒業式					3 月 1 日（土） 卒業式					3 月 1 日（土） 卒業式				



事務局

〒790-0826 愛媛県松山市文京町4番地1
愛媛県立松山北高等学校内
TEL 089-925-2161 FAX 089-927-2964

また、同期会をご計画なさっている期の皆様、
いらっしやいましたら、北高同窓会事務局まで
ご連絡ください。



来年度の同窓会総会
は、令和八年六月十三
日(土)十七時より、愛媛
県県民文化会館真珠の
間で開催予定です。
今年度ご参加の皆様
とは再会を楽しみに、
ご参加かなわなかった
皆様には来年度はぜひ
お目にかかれたらと思
います。

来年度の
同窓会総会について

事務局だより

今年度も本校同窓会活動に多方面にわた
りご協力いただきまして、誠にありがとう
ございました。昨年四月に卒業以来三十八
年ぶりに母校に通わせていただく毎日となり、同窓会事務局を担当さ
せていただいております。怠け者ゆえ、早速多くの皆様にご迷惑おか
けしてばかりの一年目となってしまいました。各方面におきまし
て、本当に温かく寛大にご対応いただきましたおかげで、何とか最初
の節目が見えてきたところです。

引き継いだ文書の中にひとときわ分厚いファイル「北斗だより(永年
保存)」があり、その中には平成元年発行(第十一号)以来、昨年度
四十六号までのバックナンバーが欠けることなく綴じられていまし
た。編集作業に行き詰まりながらも、ようやくほほすべての号に目を
通させていただきますました。そのことで、現在お世話になっております
役員をはじめとする同窓生の皆様、実に長きにわたって同窓会活動
にご尽力いただいていたかを改めて知ることができました。不慣れな
上に力不足は承知しておりますが、現在北高で過ごす現役の後輩たち
を同窓生の皆様にさらに応援していただけますように、同窓職員で協
力して歩みを進めていきたいと思っております。今後ともどうかよろしくお
願ひいたします。

同窓会年会費の納入について

毎年、年会費をお納めいただき、ありがとうございます。皆様から
お納めいただいた年会費は、同窓会活動の他、在校生の部活動費など
様々な場面で活用させていただいております。来年度以降も、ご協力
の程よろしく願ひいたします。なお、ご記入の際にはお間違いのな
いよう、願ひいたします。また、振込用紙通信欄に「寄付金 円」
欄がございます。こちらへのご協力も併せて願ひいたします。

振込用紙には卒業年または卒業回のいずれかを「記入ください」。
(注)年度の始まりは四月一日からですが、事務処理工上の関係により、
各年度の年会費の納入期間は三月一日から翌年の二月末日までとなっ
ております。ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

振込先 ゆうちょ銀行 徳島 016601915567
松山北高校同窓会

北斗だより
広告掲載募集!

北斗だよりの編集、発行
にあたりましては、様々な
方面からのご協力により、
現在に至っております。今
後も更なる内容の充実に努
めて参りたいと考えており
ます。

つきましては、北斗だよ
りへの広告掲載のご協力を
願ひいたします。

広告掲載料

一区画サイズ
(縦19cm×横7.5cm)
一区画 一万円
二区画 二万円

北高76回(令和7年卒)
理事

◎印は常任理事

- | | |
|-----|-------|
| 1組 | 大澤 勇生 |
| 2組 | 福良 笑華 |
| ◎3組 | 坂東 煌介 |
| 4組 | 中原 佑介 |
| 5組 | 成川 綾乃 |
| 6組 | 徳永 歩夢 |
| ◎7組 | 三吉 結生 |
| 8組 | 小川 光凜 |
| 9組 | 坂本 優杏 |

同期会報告

コロナで延期し

還暦同窓会を開催

大野 正二
(北高34回)

私たち昭和五十八年三月卒業の第34期生は、令和七年一月三日還暦同窓会を開催しました。

私たちは、これまで卒業二十年、三十年と十年おきに同窓会を開催し、その後は五年おきとなり、五十三歳で卒業三十五年、五十八歳で四十年を開催する予定でした。ところが、卒業四十年同窓会の開催予定は令和五年一月二日で、コロナ禍の真つただ中です。五年も前から会場を予約していたのに延期せざるを得ませんでした。そこで二年延期し還暦同窓会として開催することになった次第です。

結果的には、五十八歳の時に開くよりも還暦同窓会にして良かったと思います。参加人数が増えたことです。前回から十六人増えて百二十七人の参加となりました。還暦という人生の大きな節目に高校時代の人々と会ってみようという人



第34期 還暦記念同窓会 (令和7年1月3日 於 ANAクラウンプラザホテル松山)

が多かったと思います。また、還暦なので赤いジャケットやネクタイなどを身に付けている人が多くて会場が華やかでした。もちろん私も真つ赤なTシャツと帽子で開会あいさつをさせていただきました。

今回の同窓会を機にLINEのグループは三十人ほど増えて百三十九人になりました。ただ、ラインは使えても機能を使えない人がちらほらと。今回撮った写真はラインのアルバム機能を利用して共有することにしていたのですが、「撮った写真はアルバムにアップして。」と書き込み

するも「やり方わからん。」「何回やってもアップできらん。」とデジタル難民からの返信。「それなら子どもにやり方聞いて。」みたいなやりとり。新しいことに挑戦し続けることが、これから益々進展するデジタル社会を生き抜くためには必要だと実感するいい機会になったと思います。

今回は余興を無くして懇談の時間を長くとっていたのであちこちで大盛り上がり。閉会後はクラスごとに二次会、三次会と流れていき、途中で他のクラスと合流したりしてホントに楽しいひと時を過ごしました。次は、六十五歳で緑寿記念同窓会、六十八歳で卒業五十年記念同窓会を開催する予定です。

七十四期卒業生

成人記念同窓会

上松 蓮生
(北高74回)

令和七年一月十三日、ANAクラウンプラザホテル松山にて七十四期卒業生成人記念同窓会を開催しました。当日はお忙しい中、七名の先生方と六十四名の卒業生にお集まりいただきました。同窓会が始まる前から、お世話になった先生方と思い出話をしたり、卒

業以来初めて会う県内外の同級生との会話を楽しんだりする姿がとても印象的でした。会は、最初に浅木先生より乾杯のご挨拶をいただき開宴しました。

参加した同級生たちは進学や就職など、それぞれ違う道を歩んでおり、互いの近況を語り合うことで卒業後の成長を感じられる貴重な機会となりました。特に高校時代の話で大いに盛り上がり、当時の雰囲気がついて、まるで教室にいるかのように感じられました。また会の後半には、各テーブルに三年時のクラスごとに分かれ、担任の先生方と学校行事での楽しかった思い出や近況報告を行い、あつという間に時間が過ぎていきました。

私たちの高校生活は、新型コロナウイルス感染症の影響で、入学当初から分散登校や臨時休校、部活動での対外試合禁止、修学旅行中止など、思い描いていたものとはかけ離れていました。それでも、限られた環境の中で互いに支え合い、自分たちにできることを模索しながら過ごした時間は、今振り返ると大切な経験であり、強く心に残っています。この経験は、今後社会で活躍する上で必ず生かされるものだと思いますし、この特別な時間があつ

たからこそ成長できたのだと前向きに捉え、これからの人生を楽しんでいきたいと感じています。

そして会の最後には集合写真を撮影し、全員の笑顔が並んだ一枚は、高校時代の記憶を思い出させるとともに、成人としての責任を自覚する大切な記念となりました。最後になりましたが、同窓会を開催するにあたりご協力いただいたANAクラウンプラザホテル松山の皆様、そしてご多忙の中ご出席くださった先生方、卒業生、幹事の皆様に心より感謝申し上げます。

